

体験して学ぶ大切なこと—— 町内の子どもたちの環境会議

「平成28年度内子町環境子ども会議」(内子町・内子町教育委員会主催)が2月8日、内子町共生館で開かれ、町内全ての小・中学校から331人の児童・生徒が参加しました。

まず環境カウンセラーの松田久司さんが「内子にいるセミは何種類?」と題した講話で、内子町の環境の多様性などを紹介。その後、環境活動な

どに取り組む企業や団体の協力で、9つの分科会に分かれて体験型学習を行いました。

廃食油で石けんやキャンドルを作る体験や手作りの顕微鏡で微生物を観察する体験などがあり、参加した織田優波さん(内子小5年)は「世界に1つだけの顕微鏡を作れて良かった。いろいろなものを観察してみたい」と感想を述べました。



1 森に関するクイズに挑戦する児童たち 2 完成した廃食油のキャンドル

持続可能な地域づくりを目指して 町内の41自治会が研究大会に集結

「平成28年度内子町自治会活動研究大会」(内子町教育委員会他主催)は2月4日、内子町共生館で開かれました。

まず八日市、西沖、平野自治会が、各活動を報告。景観や文化を自分たちで守る様子を紹介するとともに、自治会に加入

しない世帯が増えている現状などを訴えました。

次にNPO法人グリーンバレー理事長・大南信也さんが「神山プロジェクト」日本の田舎をステキに変える」と題して講演。アートによるまちづくりや移住・定住促進の事例を紹介しました。



「サテライト・オフィス」などの先進事例を紹介する大南さん

第3期稲本町政の始動にあたり 小野植正久氏を副町長に選任

稲本隆壽内子町長の再選後、初めての内子町議会臨時会が2月14日に開かれ、人事案件を中心に審議が行われました。

この中で、任期満了に伴う稲田繁副町長の後任に、内子町八日市・護国町並保存センター所長の小野植正久氏を選任す

ることが同意されました。任期は2月16日から4年間です。

小野植副町長は「多くの町民の皆さんが元気で、安心して暮らせる町になるように、さまざまな課題の解決に誠心誠意努力したい」と抱負を述べました。

28年愛媛県市町広報コンクール 「広報うちこ」が5年連続の特選

平成28年愛媛県市町広報コンクルールの審査会が1月17日に開かれ、『広報うちこ』が広報紙・町部で5年連続の特選、一枚写真と組写真の部で入選を受賞しました。

講評では「設立40年の町並保存会を取り上げた特集から、まちづくりの

歴史と広がりを感じた。

ふるさとへの愛着や誇りが伝わる紙面」と高い評価を受けました。

受賞は、いつもすてきな笑顔や頑張る姿を見せてくれる皆さん、読んで応援してくれる皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。



広報紙町部で特選を受賞した『広報うちこ』12月号

新しい校舎の完成をみんなで祝う 大瀬小学校の落成記念事業

「大瀬小学校新校舎落成記念事業」(同実行委員会、内子町主催)が2月25日、同校で開かれました。式典では稲本隆壽町長が「何十年も掛けて育てた銘木を、子どもの未来のために使わせていただいた。設計や施工でも卓越した技術を発揮してもらい、大江文学のふるさとにふさわしい木造校舎になった。皆さんのご支援に感謝する」とあいさ

つ。小学生を代表して大程幸翔くん(6年)が「毎日働く人の姿や、木を切り出す仕事などを見て、多くの人が頑張って完成した校舎だと感じた。感謝の気持ちを忘れず、大切に使います」とお礼の言葉を述べました。

その他、和太鼓集団「和達」の演奏や感謝状の贈呈、餅まきなどが行われ、新しい校舎の完成を祝いました。



2

1 新校舎前で神事が行われた 2 校舎建設に尽力した皆さんに感謝状が贈られた



ギネス世界記録の認定書と愛用の下駄を手にする伊達さん

世界最速の下駄ランナーが誕生 伊達さんの記録がギネス認定

坊っちゃん姿のマラソンランナーとして知られる伊達勇人さん(上宿間)が、このほど「下駄を履いてフルマラソンを走る最速記録」で、ギネス世界記録に認定されました。

28年10月30日に大阪マラソンで作ったもので、記録は5時間35分31秒。

友人3人が一緒に走り、動画や写真を撮影して記録を証明しました。伊達さんは「5年前は証拠不十分でギネスに認定されなかったもので、仲間に感謝している。愛用している宮部木履工場の下駄の素晴らしさも広まれば」と笑顔で話しました。

